

どうすればいいの？ポリオワクチン

ポリオワクチンを

まだ1回も
受けていない

生ポリオワクチンを

すでに1回
受けている

不活化ポリオワクチンを

1～3回
受けている

生ポリオワクチンを

すでに2回
受けている

不活化ポリオワクチンを

合計4回

受けてください

不活化ポリオワクチンは、
初回接種3回+追加接種1回、
合計4回の接種が必要です。

不活化ポリオワクチンを

あと3回

受けてください

生ポリオワクチンを1回接種
されている方は、合計3回の
不活化ポリオワクチン接種が
さらに必要です。

不活化ポリオワクチンが

合計4回となるよう
残りの回数を

受けてください

国内未承認の不活化ポリオ
ワクチンの接種を開始されて
いる方も、不足分を定期接種で
受けることができます。

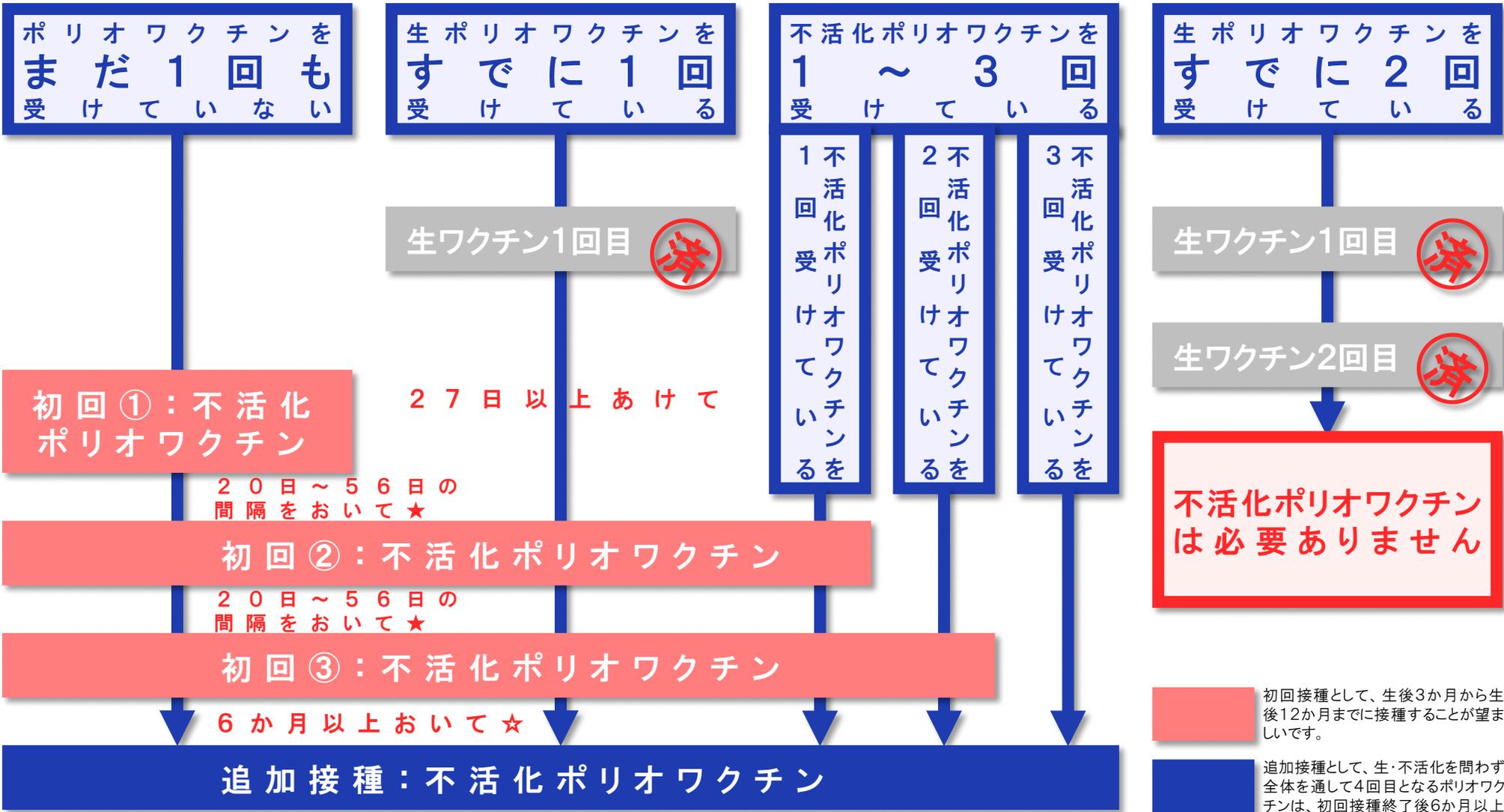
不活化ポリオワクチンは

**必要
ありません**

生ポリオワクチンをすでに2回
接種されている方は、さらに
不活化ポリオワクチンを接種
する必要はありません。

- ★使用する不活化ポリオワクチンは、単独の不活化ポリオワクチンまたは4種混合ワクチンです。
 - ☆ポリオワクチンまたは3種混合ワクチンの接種をすでに開始している方は、単独の不活化ポリオワクチンの接種を受けてください。
 - ☆ポリオワクチンと3種混合ワクチンが未接種の方は、4種混合ワクチンの接種を受けてください。
- ★不活化ポリオワクチンは、初回接種：20日から56日までの間隔をおいて3回、追加接種：初回接種終了後6か月以上の間隔をおいて1回、合計4回の接種が必要です。
 - ☆単独の不活化ポリオワクチンは、初回接種として20日以上の間隔をおけば接種可能であり、接種間隔の上限はありません。
 - ☆単独の不活化ポリオワクチンの追加接種は、10月23日より開始されました。

どうすればいいの？ポリオワクチン



初回接種として、生後3か月から生後12か月までに接種することが望ましいです。

追加接種として、生・不活化を問わず、全体を通して4回目となるポリオワクチンは、初回接種終了後6か月以上の間隔をおいてください。

※使用する不活化ポリオワクチンは、単独の不活化ポリオワクチンまたは4種混合ワクチンです。

- ・ポリオワクチンまたは3種混合ワクチンの接種をすでに開始している方は、単独の不活化ポリオワクチンの接種を受けてください。
- ・ポリオワクチンと3種混合ワクチンが未接種の方は、4種混合ワクチンの接種を受けてください。

★単独の不活化ポリオワクチンは、初回接種として20日以上の間隔をおけば接種可能であり、接種間隔の上限はありません。

☆追加接種は6か月以上おけば接種可能ですが、12か月から18か月の間隔をおくことが望ましいです。

単独の不活化ポリオワクチンの追加接種は、10月23日より開始されました。

不 活 化 ポ リ オ ワ ク チ ン

(単 独 ま た は 4 種 混 合) の

接 種 を 受 け ま し ょ う 。

2012(平成24)年9月から、
不活化ポリオワクチンが導入されました。

- ◆生ポリオワクチンに代えて、不活化ポリオワクチンが導入されました。
- ◆単独の不活化ポリオワクチンの定期接種は、9月1日に開始されました。
- ◆ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオワクチン(DPT-IPV)の4種混合ワクチンの定期接種は、11月1日に開始されました。

生後3ヶ月を迎えたら、
不活化ポリオワクチンの接種を受けましょう。

- ◆ポリオワクチンまたは3種混合ワクチンの接種をすでに開始している方は、単独の不活化ポリオワクチンの接種を受けましょう。
- ◆ポリオワクチンと3種混合ワクチンが未接種の方は、生後3ヶ月を過ぎたらできるだけ早く4種混合ワクチンの接種を受けましょう。

不 活 化 ポ リ オ ワ ク チ ン 導 入 前 に
1 回 目 の 生 ポ リ オ ワ ク チ ン を 接 種 し た 方 は 、
2 回 目 以 降 は 不 活 化 ポ リ オ ワ ク チ ン を
受 け る こ と に な り ま し た 。

- ◆生ポリオワクチンを1回接種した方は、2012(平成24)年9月以降は不活化ポリオワクチンを3回接種することになりました。
- ◆生ポリオワクチンをすでに2回接種された方は、不活化ポリオワクチンの接種は不要です。

不活化ポリオワクチン（単独および4種混合）の定期接種は、このように行います。

■接種方法が変わりました

- ◆生ポリオワクチンは経口接種（口から飲む）でしたが、不活化ポリオワクチンは皮下接種（皮下に注射）となりました。

■不活化ポリオワクチンの接種方法は、3種混合ワクチンと同じです

- ◆不活化ポリオワクチン（単独および4種混合）の対象年齢、接種間隔、標準的な接種年齢は、これまでの3種混合ワクチン（DPT：ジフテリア・百日せき・破傷風）と同じです。

■4回（初回3回・追加1回）の接種が必要です

- ◆不活化ポリオワクチンは、初回接種として20日から56日までの間隔をおいて3回、また追加接種として初回接種終了後6か月以上の間隔をおいて1回、合計4回の接種が必要です。

（※）単独の不活化ポリオワクチンは、初回接種として20日以上の間隔をおけば接種可能であり、接種間隔の上限はありません。

（※）単独の不活化ポリオワクチンの追加接種は、10月23日より開始されました。

- ◆海外等で既に不活化ポリオワクチンを1～3回接種されている方については、生後90月（7歳6ヶ月）に至るまでの間であれば、不足分の接種を受けることができます。

■初回接種は生後3か月から12か月の間に受けましょう

- ◆初回接種（1～3回目）の標準的な接種年齢は、生後3か月から12か月です。
- ◆生後90月（7歳6か月）に至るまでの間であれば、過去に生ポリオワクチンを受けそびれた方も、定期接種として不活化ポリオワクチンの接種を受けていただくことが可能です。

■通年で接種できるようになりました

- ◆生ポリオワクチンの定期接種は、多くの市町村で春・秋に行われてきましたが、不活化ポリオワクチン導入後は、多くの市町村で通年接種が可能になりました。
- ◆多くの市町村では、市町村（保健所）での集団接種から、医療機関での個別接種に変更されました。

ポリオワクチンを接種することが、ポリオを予防する唯一の方法です。

- ◆日本では、2000年にポリオの根絶を報告しましたが、世界には、今でも流行している地域があり、渡航者などを介して感染はどの国にも広がる可能性があります。

○パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアなどでは、今でも流行がみられます。

○いったんポリオが根絶された中国などでも、最近流行が起こったことが報告されています。

- ◆このため、ポリオの根絶に向けて、世界中でワクチンの接種が行われています。

○きちんとワクチンを接種し、ほとんどの人が免疫をもてば、海外でポリオが流行しても、国内での流行を防ぐことができます。